



ACTIVITY
REPORT
2018

Wonder Art Production

Happy Art Project

ハッピーアートプロジェクト

重度の障がいと生きる人々のもとへ、アートを通じた自己表現とコミュニケーションの時間をはこぶ『ハッピーアートプロジェクト』。全国4病院で10プログラムを開催しました。



9/26 国立病院機構三重病院

「病院から外に出られず自然を感じられる機会が少ない患者さんに“秋”を感じられるアートの時間を届けてほしい！」リクエストをいただき、2度目の訪問となった三重病院。朝から楽しみで興奮気味だったという患者さんもあり、患者さんの普段は見られない表情に職員さんたちも驚かされていました。



10/15 国立病院機構福島病院

3つの病棟を訪問し、病院のリクエストによる天井装飾を制作しました。目や表情で自分の意思を伝えてくれた患者さんたち。手や足に絵筆を握って、懸命に描いた優しい絵が無機質な天井を明るく変身させました。



11/6・11/7 国立病院機構宮城病院

2013年から度々訪れている宮城病院。久々の再会を喜び合いながら、クリスマスに向けた作品を制作しました。アートとコミュニケーションの時間を通して、閉じていた眼が開き、驚くほどの笑顔を見せてくれた皆さん。「病棟の全員が参加できたのは初めて!」と保育士さんたちも驚かれた奇跡のプログラムとなりました。



1/21・1/23 東京小児療育病院

初訪問となった東京小児療育病院。楽しみに待っていたという患者さんたちが続々と集まり、予定を上回る人数が参加しました。「絶対に参加したい!」と院内学級の先生に直談判し、授業の時間を変更してやってきた子も。それぞれに目や表情や体を動かして、初めての体験の喜びや驚きを表現してくれました。



助成：平成30年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

“生きる”を輝かす！ HAPPY ART PROJECT

～重度心身障がいの人々と創作の日々～

重度心身障がいの人々を対象としたアートプログラム『HAPPY ART PROJECT』。その創作の記録を通して重度障がいへの理解を促す展覧会を、東京と仙台の4会場で開催しました。

ワンダーアートスタジオ（仙台市）



仙台の会場には、東京・福島・宮城県内の各地から、医療・福祉関係者、小学生、活動サポーター、スタジオに通う受講生とご家族など多くの来場がありました。会場一面に展示された重度心身障がいの皆さんの笑顔に、大きな感動の声が寄せられました。

助 成：平成 30 年度 独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

後 援：厚生労働省、独立行政法人国立病院機構
公益社団法人日本重症心身障害福祉協会
日本重症心身障害学会
【東京展】東京都、千代田区、千代田区教育委員会
【仙台展】仙台市、仙台市教育委員会

協 力：国立病院機構宮城病院、国立病院機構福島病院
国立病院機構三重病院、東京小児療育病院

2019/3/5-4/4 東京シティアイ * 配布型展覧会
3/9 東京交通会館 * 特設展示、配布型展覧会
3/21 東京交通会館 * 特設展示、配布型展覧会
3/14-3/17 ワンダーアートスタジオ（仙台市）
3/24-3/25 かがやきプラザ（千代田区）

東京交通会館



〈東京シティアイ〉で決定していた大型展示が施設の都合により中止になり、急遽、特設展示を東京交通会館前で開催しました。“配る展覧会”は2日間で2800人に配布。道行く多くの人たちに向けて障がい者理解につなげるメッセージを発信することが出来ました。



子どものワークショップで一緒にできた「ノッポさん」がサブライズ登場！“配る展覧会”を道行く人に配り、会場を盛り上げて下さいました！

目が見られない障がいの問題を、どうしたら多くの人に伝えることが出来るのか。展覧会で展示した写真とメッセージを冊子に凝縮し、“配る展覧会”として全国各所に2万部を配布しました。

かがやきプラザ



東京会場には地域の方々、併設する病院の患者さんやご家族、医療・福祉関係者など、多くの方が来場しました。支援企業、マスコミ、活動サポーターを招いた内覧交流会も開催しました。



Happy Doll Project

ハッピードールプロジェクト

全国と世界をつなぐ『ハッピードールプロジェクト』は13年目を迎えました。
2018年も6病院で10プログラムを開催しました。



6/8 埼玉県立小児医療センター

院内展覧会 6/8-6/22

8年ぶりの開催。世界に一つしかないものをつくりたい！もっともっとつくりたい…！子どもたちは時間いっぱいまで自分の納得する作品づくりに夢中になりました。「早く退院して学校に行けますように」「みんなの心がしあわせになりますように」世界でたった一つの作品たちに、子どもたちの切なる願いが込められました。



6/26 国立国際医療研究センター病院（東京都）

院内展覧会 6/26-7/3

つくりたいものを絵に描いて楽しみに待っていてくれた子、終了時間がきても最後まで諦めずに完成させた子…。「きれいなものを見てワクワクした！」「みんなと一緒にできて楽しかった」「作品が戻ってくるクリスマスを楽しみに待ってるよ！」病棟に訪れたいつもと違う時間に、子どもたちやご家族から嬉しい声が届きました。



7/9 特別養護老人ホーム 寛ぎの郷 (宮城県)
院内展覧会 7/9-8/7

「素敵な作品が出来ましたねー！」お披露目の時間に、ふわっと花が開くように広がる皆さんの笑顔。生き生きと誇らしげに作品を掲げる方、自分の作品に何度も愛おしそうに触れている方。忘れがたい記憶の1ページが、また一つ刻まれました。



7/9 特別養護老人ホーム 和らぎの郷 (宮城県)
院内展覧会 7/9-8/7

認知症の高齢者も暮らす老人ホーム。手作業が難しいと感じている皆さんも、一緒に布を選び、はさみで切り、ホチキスで止めて、ひとつひとつの作業に手を動かしていくと、表情豊かな作品が完成。自分の手で創り上げた喜びに、笑顔の花が咲きました。



7/10 仙南病院介護老人保健施設
はくあいホーム (宮城県) 院内展覧会 7/10-8/7

2006年に訪れて以来、12年ぶりの再訪。作品に添えられた願いごととカードには「目が見えるようになりますように」「早く歩けるようになりますように」という願いのほか「生命美しく生きよう」という素敵なメッセージが添えられていました。



9/6 帝京大学医学部附属病院 (東京都)
院内展覧会 9/6-9/14

子どももお母さんも夢中になり、予定していた時間を延長。病室から出られない子どもたちの部屋も個別訪問しました。「たくさん元気に走ったり遊んだりできますように」「丈夫なからだに育つよう、守ってくれますように」「みんなの病気がよくなりますように…」みんなの切なる願いが込められたハッピードールが、新たな仲間に加わりました。



9/20 宮城県立がんセンター
院内展覧会 9/26-10/4

2006年以来、12年ぶりの訪問。「病気以外のことで集中出来てリフレッシュした」「いろいろな人とコミュニケーションが取れて嬉しかった」など、感想が寄せられました。看護師さんからは「患者さんとスタッフと共有の時間が過ぎて良かった」という声も。スーダンから来た研究生は「子どもたちに届けてほしい」と作品をプレゼントしてくれました。



記録集の制作

すべての作品と活動風景を収めた記録集は
11冊目に！参加者全員にプレゼントしました。



協賛：サノフィ株式会社 グロブナー・リミテッド コスモエネルギーホールディングス株式会社 シチズン時計株式会社
一般財団法人 日本児童教育振興財団 (記録集制作)

クリスマスカードプロジェクト

オリジナルデザインのカードに、手書きのメッセージを添えて入院中の子どもたちに贈るプロジェクト。18年目となる2018年は全国36病院へ3026枚のカードをお届けしました。

プレゼント先病院

北海道立子ども総合医療・療育センター
 弘前大学医学部附属病院
 国立病院機構岩手病院
 国立病院機構宮城病院
 宮城県立こども病院
 仙台赤十字病院
 国立病院機構仙台西多賀病院
 仙台市立病院
 秋田大学医学部附属病院
 山形大学医学部附属病院
 福島県立医科大学附属病院
 竹田総合病院
 筑波大学附属病院
 とちぎ子ども医療センター
 埼玉県済生会栗橋病院
 埼玉県立小児医療センター
 千葉県こども病院
 順天堂大学医学部附属順天堂医院
 聖路加国際病院
 東京大学医学部附属病院
 新潟県立がんセンター
 金沢医科大学病院
 長野県立こども病院
 岐阜大学医学部附属病院
 国立病院機構三重病院
 京都大学医学部附属病院
 兵庫県立こども病院
 和歌山県立医科大学附属病院
 鳥取大学医学部附属病院
 鳥取市立病院
 国立病院機構四国こどもとおとなの医療センター
 熊本大学医学部附属病院
 大分こども病院
 鹿児島市立病院
 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
 特別養護老人ホーム 寛ぎの郷・和らぎの郷



カード誕生のストーリー

カードにデザインした作品は、仙台に開設したボーダレスアートスタジオ〈Wonder Art Studio〉に通う子どもたちが制作した作品です。



メッセージライティング参加者

ハートポケット倶楽部 / 花王株式会社 ジョーンズ ラング ラサール株式会社 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社
 モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社 シチズン時計株式会社 熊本大学医学部附属病院 長野県立こども病院
 にこにこトマト (京都大学医学部附属病院) 貝塚市ハート交流館 東京都立小平高等学校 仙台市立東四郎丸小学校 大船渡市たっせ学童クラブ
 大船渡市放課後児童クラブゆうゆう 大船渡市放課後児童クラブりょうりキッズ 大船渡市うみねこキッズ 大船渡市放課後児童クラブさくらりっこ
 大船渡市キッズクラブいかわ 大船渡市にこにこ浜っ子クラブ 仙台市荒町児童館 仙台市連坊小路マイスクール児童館 南相馬市上町児童クラブ
 南相馬市橋本町児童クラブ 南相馬市東町児童クラブ 南相馬市大甕児童クラブ 南相馬市上真野児童クラブ 熊本県南小国町黒川保育園
 熊本県益城町さくらんぼクラブ 熊本市城南児童館 認定 NPO 法人 Switch 全国の皆さん

コーポレートパートナー：ハートポケット倶楽部 / 花王株式会社 ジョーンズ ラング ラサール株式会社
 三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 モルガン・スタンレー MUFG 証券株式会社 シチズン時計株式会社



HOSPITAL ART

クリスマスチャリティ

入院中の子どもたちにプレゼントを届ける『クリスマスチャリティ』。
全国9病院へ578個のプレゼントをお届けしました。



プレゼント先病院

- 東北大学病院
- 仙台エコー医療療育センター
- 公立相馬総合病院
- 国立病院機構下志津病院
- 千葉大学医学部附属病院
- 国立国際医療研究センター
- あいち小児保健医療総合センター
- 滋賀県立小児保健医療センター
- 熊本赤十字病院

コーポレートパートナー：サノフィ株式会社

プレゼント協力：株式会社ディック・ブルーナ・ジャパン 有志の皆さん

フレンズ本町 アートリノベーション

渋谷区の依頼により「児童青少年センターフレンズ本町」のリノベーションデザインと施工を行いました。ペンキ塗りには利用者の子どもたちも参加。自分たちの手で環境を変えることで、愛着を持って過ごせる場所になってほしい。願いを込めたアートリノベーションで、見違えるような空間に生まれ変わりました。

After



子どもたちのエネルギーと同調する明るく元気なデザインを提案。
無機質で不安を感じさせる空間に安心感を与える彩りが加わり、狭い空間に広がりが生まれました。

Before



白を基調にした無機質な建物。数年前に建てられた新しい施設ですが、子どもたちの落書きやいたずらによる足跡が絶えず、壁面の汚れが目立っていました。



協賛：グローブナー・リミテッド

東北・熊本応援活動



8年目を迎えた東北・熊本の応援活動。地域イベント、災害公営住宅、支援学校、児童クラブなどの要請に応え、各地に応援活動をお届けしました。仙台の〈ワンダーアートスタジオ〉の活動と合わせて、東北・熊本での活動日数は120日以上となりました。



2018

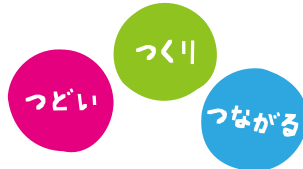
4/27	岩手県	陸前高田市	災害公営住宅水上団地
4/29	福島県	南相馬市	春の市民まつり
5/11	宮城県	石巻市	新立野第一復興住宅
5/14	福島県	南相馬市	小高合同児童クラブ
5/28	岩手県	大船渡市	災害公営住宅川原アパート
6/4	岩手県	陸前高田市	三日市仮設住宅
6/16	福島県	南相馬市	東町児童クラブ
7/27	福島県	南相馬市	南相馬市民文化会館ゆめはっと
7/28	岩手県	大船渡市	岩手県立気仙光陵支援学校
8/3	宮城県	仙台市	荒井東復興公営住宅
8/8	宮城県	石巻市	なかよし保育園(わくわくリズム)
8/9	熊本県	益城町	広安小学校さくらぼクラブ
8/9	熊本県	益城町	広安小学校あすなろ・おひさまクラブ
8/10	熊本県	益城町	益城町立第五保育所
8/16	宮城県	仙台市	放課後等デイサービスつなぐ泉
8/17	福島県	南相馬市	鹿島児童クラブ
8/18	岩手県	大船渡市	大船渡市文化会館リラスホール
8/18	福島県	南相馬市	上町児童クラブ
8/21	宮城県	村田町	村田児童館
8/24	岩手県	陸前高田市	災害公営住宅水上団地
8/31	宮城県	仙台市	宮城県立聴覚支援学校 早期支援ひよこ組
10/1	岩手県	陸前高田市	二日市仮設住宅
10/12	宮城県	仙台市	仙台市立東四郎丸小学校
10/13	福島県	南相馬市	橋本町児童クラブ
10/15	福島県	須賀川市	国立病院機構福島病院
11/2	福島県	福島市	福島県立聴覚支援学校 福島校
11/3	福島県	南相馬市	復興あきいち
11/6	宮城県	亶理郡山元町	国立病院機構 宮城病院
11/7	宮城県	亶理郡山元町	国立病院機構 宮城病院
12/3	宮城県	仙台市	東北大学病院
12/3	宮城県	仙台市	国立病院機構 西多賀病院
12/4	岩手県	大船渡市	福祉の里センター
12/14	宮城県	亶理郡山元町	国立病院機構 宮城病院
12/16	福島県	南相馬市	原町生涯学習センター

2019

1/19	福島県	南相馬市	東町児童クラブ
1/26	福島県	南相馬市	ひがし生涯学習センター
2/2	福島県	南相馬市	上町児童クラブ
2/4	福島県	南相馬市	小高合同児童クラブ
3/24	岩手県	大船渡市	大船渡市市民活動まつり



ワンダーアーツスタジオ



2017年にオープンしたスタジオは2年目を迎えました。1年目のアトリエ開催を経て、2018年からはボーダレスアートの定期クラスを開講。子ども・おとなの年齢別クラスのほか、幼児向けのクラスや親子の自由アトリエも定期的を開催しました。第3弾となるアートリノベーションも行き、スペースを拡張。スタジオで生まれた作品を展示する〈Wonder Art Museum〉もオープンしました。



公募展
入選!

『第4回 Art to You !
東北障がい者芸術公募展』
に出品したボーダレスアート
クラス受講生2名の作品が
見事優秀賞と入賞に
選ばれました!



Wonder
Artも
開催!

スタジオ内に開設した
〈Wonder Art Museum〉
のオープニング記念として
子どもたちの作品展を
開催しました。



展覧会出展

災害や戦争、難民問題や環境破壊など、危機的な問題が山積する今日において、美術が社会を襲う大惨事や個人的な悲劇とどのように向き合い、再生を遂げるためにどのような役割を果たすことができるのか。負を正に転ずる力学としての「美術のちから」について注目し、その可能性を問う展覧会。世界 40 組のアーティストの 1 人に高橋が選出され、東日本大震災以降、被災地で取り組み続けているアートによる挑戦をインスタレーションで提示しました。



六本木ヒルズ・森美術館 15 周年記念展 『カタストロフと美術のちから展』

会期：2018 年 10 月 6 日～2019 年 1 月 20 日

会場：森美術館

主催：森美術館

メディア掲載

各紙で高橋の取り組みが紹介されました。(一部抜粋)



毎日新聞 (2018年11月14日付)



読売新聞 (2019年3月17日付)



中日新聞 (2018年9月27日付)



岩手日報 (2018年12月5日付)



福祉医療機構 (WAM) 2018.7



福島民報 (2018年5月22日付)



日経新聞 (2018年10月17日付)



Medical Communication 2019 冬号

Happy Art Project

サポーター大募集

子どもの活動、医療施設・福祉施設における活動、東北・熊本応援活動はすべて非営利事業のため、皆さまのご支援が必要です。温かな応援を宜しくお願い致します。

《会員》

年会費：(個人) 5,000 円 (18 歳以下) 3,000 円

※ご支援内容によりお振込先が異なります。

《協賛・寄附》

様々な支援方法があります。事務局までお問い合わせください。

■ 子ども・医療施設・福祉施設における活動

Wonder Art Production みずほ銀行 五反田支店

(普) 2526733 ワンダーアートプロダクション

■ 東北・熊本応援活動

ARTS for HOPE 三菱東京 UFJ 銀行 成城支店

(普) 0086309 アーツ フォー ホープ

*会費をお振込みの際は、お手数ですが電話・FAX・メールで下記までお知らせ下さい。

*支援者の皆さまには活動毎の報告書をメールでお送りします。年末には記録集を贈呈します。

Wonder Art Production (高橋雅子事務所)

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-16-5-501

TEL : 03-6240-1525 FAX : 03-6240-1528 E-mail : wonderartproduction@gmail.com



Homepage



facebook

<https://www.masakotakahashi.website/>